

2026年2月21日

日本循環器協会 循環器病優秀アドバイザー 表彰式

そうごう薬局における 循環器病予防のための取り組みに関して ～がんの専門資格をもつ薬剤師として～

総合メディカル株式会社
そうごう薬局 塩原店

本村 真悟

本日の内容

- ・ 自己紹介、薬局紹介
- ・ 循環器病アドバイザー取得の志望動機
- ・ 当薬局における循環器病に関する啓発活動
- ・ 今後の展望
- ・ まとめ

日本循環器協会 循環器病優秀アドバイザー 表彰式

利益相反開示事項

所属：総合メディカル株式会社 そうごう薬局 塩原店

発表者： 本村 真悟

**私は本演題発表に関連して、
開示すべき利益相反はありません**

自己紹介

- ・ 名前：本村 真悟 (もとむら しんご)
- ・ 薬剤師歴：10年目
- ・ 出身地：福岡県福岡市
- ・ 経歴：2016年-社会福祉法人恩賜財団 済生会長崎病院
2019年-総合メディカル株式会社 そうごう薬局 石丸店、戸切店
2021年-総合メディカル株式会社 そうごう薬局 天神中央店

2023年11月-総合メディカル株式会社 そうごう薬局 塩原店
- ・ 資格：日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療専門薬剤師(BPACC)
日本循環器協会 循環器病アドバイザー、エキスパートアドバイザー



総合メディカル株式会社について

地域社会や医療機関が抱える課題を共有し
当社グループのソリューションをベースに
それぞれの分野に求められる価値を提供するにより
持続可能な医療提供体制の構築に貢献してまいります。



当社における循環器分野への取り組み

＜循環器疾患予防・啓発に向けた取り組み＞

- ・循環器病アドバイザーの資格取得の推進、健康イベントの実施

○ 総認定者数 372名（薬剤師270名・RCS100名・その他2名）

○ 所属別認定者数

総合メディカル(株)	薬局所属	358名 (※1)
	本部所属	9名
(株)あおば調剤薬局		5名

(※1) 70ブロック中、64ブロックに認定者在籍

- ・日本循環器協会 「血压測ろうぜ」 キャンペーン参画

○ 全国の薬局・ドラッグストア11,423薬局でキャンペーンを実施

○ 総合メディカルグループからは572薬局が参画、うち80薬局で健康イベントを開催



日本循環器協会「血压測ろうぜ」キャンペーンについて <https://hakarouze.com/>

毎年 8月10日は「健康ハートの日」として、日本循環器協会、日本心臓財団、日本循環器学会、日本AED財団では、心臓病や循環器病の予防啓発を推進しています。

本キャンペーンは、地域の皆様に「血压130mmHg以上は注意が必要である」という意識を高め、定期的な血压測定の習慣化を促すため、地域住民に最も身近な薬局・ドラッグストアで、この重要なメッセージを伝え、「まずは測ってみること」のきっかけ作りを目的としています。

店舗紹介、特徴

そうごう薬局 塩原店

○処方箋枚数 約2200枚/月
がん患者 約570名/年

○処方箋発行機関
九州中央病院
(地域がん診療連携拠点病院)

○薬剤師 10名
(外来がん治療専門薬剤師：2名)
(糖尿病療養指導士：1名)
(糖尿病薬物療法履修薬剤師：1名)

(循環器病アドバイザー：3名)
(循環器病エキスパートアドバイザー：1名)

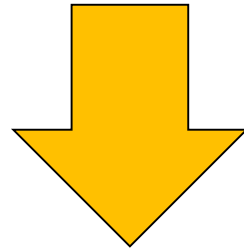
地域連携薬局（2023年3月認定）
専門医療機関連携薬局（2023年3月認定）

『がんに強い薬局』

循環器アドバイザーの志望動機

<資格取得を目指したきっかけ>

外来がん治療専門薬剤師として
がん患者のケア・フォローアップを実施する中で
**がん治療中に循環器病を発症し
治療が中断、治療が続けられなくなる**といった症例を経験



高齢者においては**悪性新生物(がん)が死因1位、循環器疾患が死因2位**
がんと循環器病は密接な関係にあり、両方の視点、知識を深めることで
より多くの患者様の力になれると考え、資格取得を決意



地域住民へ向けた健康イベントの開催

【イベント概要】

福岡市中央区大名にある大名公民館で健康イベントの一環として地域住民を対象とした健康講演会と測定器を用いた健康チェック、薬剤師による健康相談を実施。

主催：大名公民館、総合メディカル株式会社

開催日：2025年9月6日（土）14:00-16:00

会場：大名公民館 講堂

参加者：地域住民(60-90歳台)22名、公民館職員2名



大名公民館の外観

**資格取得で得た知識を
広く啓発するために実施**

【イベント内容】

14:00-14:30 循環器病アドバイザーによる講演会

講師：本村 真悟(塩原店)

講演テーマ：「循環器病を正しく知って、健康的な生活を」



<講演内容>

- ・循環器病とは？(心臓・脳・血管)
- ・主な原因である生活習慣病
- ・予防には減塩が特に効果的
- ・心不全を防止、悪化させない

14:30-16:00 測定器を用いた健康チェック、健康相談会

測定器：PASESA(血圧計)、InBody、骨ウェーブ、脳年齢計
薬剤師による健康相談会(1対1)



PASESA(血圧計)



InBody



骨ウェーブ



脳年齢計

**循環器に関して
正しい知識の
教育・啓発を**

**実際に血圧や
体組成を測って
もらう体験会も！**



地域住民へ向けた健康イベントの開催

【参加者からの質問】

- ・1日の水分量はどれくらいとればいいのか？
- ・下肢静脈瘤があった場合に気を付けることは？
- ・動脈硬化の定期検診にはどのようなものがあるのか？
- ・血液サラサラの薬を含め、ずっと続けた方がよいのか？
- ・InBodyの測定結果が悪かった、こういった運動が効果的？

【参加者の声】



「自分の身体の状態が知れてよかった♪」
「循環器病についてクイズを交えてわかりやすく説明があり、理解が深まった♪」

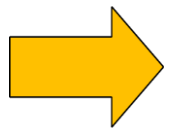
「待ち時間も楽しいセミナーは初めて♪」
「質問に親身になって答えてもらい嬉しかった♪」

今後の展望・まとめ

- ・循環器病に関して正しい知識を啓発していくには、医療機関の場だけではなく、健康イベントなどを通して、幅広く国民の皆様へ伝えていくことが重要であると感じた。

【自分ならではの展望】

- ・ **がん X 循環器の視点からも取り組みを検討していきたい！**



心毒性のあるアンスラサイクリン系抗がん剤の投与歴が把握できるようなシールをお薬手帳へ貼付することで薬局薬剤師が心毒性リスクを把握し、将来的な心不全を予防するための声掛け、指導ができるような取り組みをがん拠点病院や地域の薬剤師会と連携して検討を進める予定です。

ご清聴ありがとうございました。

